

10 志布志市備蓄計画

志布志市災害時備蓄計画

平成27年11月

志布志市

I 総則

1 計画の目的

本計画は、市が、発災からの3日間における被災者の生命維持に最低限必要な物資等を計画的に備蓄すること等により、物資供給活動等に資することを目的とする。

2 基本的な考え方

本計画における災害時の備蓄体制の構築については、①自助（自らの力で行う）、②共助（事業者や自主防災組織等が助け合う）、③公助（公的機関が支援を行う）の考え方により実施することとする。

また、備蓄体制については、市が行う行政備蓄をはじめとして、市民による平時からの家庭内備蓄の促進や、地域内備蓄、企業内備蓄、流通在庫備蓄等の考え方を踏まえ、市民・企業・行政が一体となって備蓄体制の整備を推進することを基本とし、本計画においては、市が行う行政備蓄に関する計画について定めるものである。

備蓄体制	概要
家庭内備蓄	市民が自らの家庭内において3日分以上の食料や飲料水の備蓄を行うなど、日頃から災害時に必要な物資を蓄えておくこと。
地域内備蓄 企業内備蓄	地域の自治会・町内会や自主防災組織等が平常時の活動において、自主的に地域内において食料や飲料水等の備蓄品を確保しておくこと。また、企業等は、災害時における従業員との連絡方法を定め、3日分以上の備蓄等を推進し、災害が発生した場合には、地域住民と協力し周辺地域における防災活動を協力して行うこと。
行政備蓄	市が平時から行う食料等の備蓄のこと。大規模な災害時には、家屋の倒壊、焼失等により、多数の避難者、負傷者が発生することが予想されることから、行政備蓄として平時から食料、生活必需品及び災害応急対策に必要な防災資機材等の備蓄を行う。 ----- 市の災害対応に従事する職員への必要最低限の食料等の物資の提供を行う。
流通在庫備蓄	事業所等と市があらかじめ協定等を締結し、災害時に必要な物資（食料や生活必需品等）を調達すること。この流通在庫備蓄を活用していくことにより、市全体の備蓄体制の構築に努めるとともに、平時から事業所等との協定書を積極的に締結することによって、円滑な物資の調達体制を確保する。

3 計画期間

行政備蓄の整備に係る計画期間は、食料・生活必需品については、平成26年度から平成30年度までの5年間、避難所資機材については、平成26年度から平成28年度までの3年間とする。各年度に保存期間を考慮しながら年次的に備蓄を図る。また、消費期限（賞味期限）が到来したものについては、順次入れ替えを行う。

4 行政備蓄の対象人口

津波災害の予想される志布志市街地地区・通山地区に居住する8,000人を最大値とし、これらを対象者に対する食料及び生活必需品の備蓄については、市が行う行政備蓄に加え、家庭内備蓄、地域内備蓄、企業内備蓄等により備蓄体制を整備していくこととする。なお、流通在庫備蓄について

は、流通の確保が見込まれる場合に調達する。

※市地域防災計画より

備蓄の方針

(1) 備蓄場所

- 備蓄場所は交通の便、人口分布等を考慮し、配置する。
- 原則として、公共的施設を活用し必要に応じて倉庫等を整備する。

(2) 備蓄品の種類と数量

①食料

- 必要量は、災害当初の3日間のうちの2日分とする。(1日分は家庭内備蓄を充当)
- 食料は、保存期間が長くかつ調理不要のものとし、避難住民の多様なニーズに対応したものとす。
- 備蓄品目は、概ね次のとおりとする。
 - ・主食品：おこわ、乾パン、缶詰等
 - ・乳児食：粉ミルク、離乳食等
 - ・その他：保存水、レトルト食品、カップ麺等

②飲料水

- 必要最低量は、災害発生から3日分、1人1日3リットルを確保する。

③生活必需品

- 必要量は、災害当初の3日間のうちの2日分とする。(1日分は家庭内備蓄を充当)
- 備蓄品目は、概ね次のとおりとする。
 - ・日用品：食器、ほ乳瓶、トイレットペーパー、紙おむつ、石鹸、バケツ等
 - ・衣料等：毛布、タオルケット、タオル、Tシャツ等
 - ・その他：ポリ容器、救急箱等

5 備蓄の場所

(1) 食料及び生活必需品

平時からの衛生管理の徹底を図るため、また、保存期限切れの備蓄食料の入れ替えをスムーズに行うために、本庁・各支所に集中備蓄を行うこととする。

(2) 避難所資機材

災害時にすみやかに資機材が活用される体制を構築するため、災害時の指定避難所25ヶ所のうち避難拠点施設8ヶ所及び災害対策本部1ヶ所、現地災害対策本部2ヶ所の合計11ヶ所において分散備蓄を行うこととする。また、配備する品目は、原則として統一的な品目とします。なお、保管については、既存施設を活用するが、必要に応じ備蓄倉庫等の設置を検討する。

II 備蓄品目

1 食料

食料については、日常生活の主食に近い米飯を中心とし、避難生活をするにあたって必要と思われる次の物資を備蓄することとする。

(1) 粉ミルク

乳幼児用として、アレルギー対応型の粉ミルクを含め備蓄します。

(2) アルファ米（白かゆ）

幼児用として白かゆを備蓄します。また、食物アレルギーの方等への対応については、アレルギー特定原材料を含まず摂取塩分が過多にならないよう、白かゆで対応することとする。

(3) アルファ米（五目御飯）

成人用として、栄養面でも優れており、副食が不要である五目御飯を備蓄する。

(4) アルファ米（梅かゆ）

高齢者用として梅かゆを備蓄します。食物アレルギーの方等については、白かゆで対応することとする。

(5) 乾燥スープ

塩分を補給するため、お湯を入れるだけで調理ができる乾燥スープを備蓄する。

(6) 飲料水

飲料用として、ペットボトル型の飲料水を備蓄する。

2 生活必需品

生活必需品については、避難生活を行う際に必要と思われる次の物資を備蓄する。

○哺乳瓶、紙おむつ（乳幼児用）、介護おむつ（高齢者用）、生理用品、災害用食器等

3 避難所資機材

避難所資機材については、各避難所において避難所生活や災害時の応急対策活動等、避難所運営等に必要と思われる防災用資機材及び生活用資機材等を備蓄する。

○救助資機材セット、脚立、ブルーシート、ロープ、ハンドメガホン、懐中電灯、発電機、ガソリン缶、防災用投光器、コードリール、防災用ヘルメット、車イス、担架、ポリタンク、大型救急箱、毛布、簡易トイレ等

Ⅲ 備蓄目標

1 食料

食料については8,000人の避難者数に対し1日3食分（24,000食）、2日分以上を目標に、以下のとおり備蓄を行うこととする。

(1) 粉ミルク《対象：0歳》 ※保存期間1.5年

1回当たりの調乳量を240ミリリットル（粉換算30グラム）とし、1日5回（粉換算150グラム）2日分を目安として1人当たり300グラムを備蓄。（粉ミルクについては保存期間が1.5年であることから毎年度購入。）

【目標数量】70人×150グラム×2日=21,000グラム

(2) アルファ米（白かゆ）《対象：1～2歳》 ※保存期間5年

1人当たり3食分／1日を備蓄。注水後の内容量は1食当たり40グラム（出来上がり量320グラム）程度。

【目標数量】150人×3食分×2日=900食

(3) アルファ米（五目御飯）《対象：3～69歳》 ※保存期間5年

1人当たり3食分／1日を備蓄。注水後の内容量は1食当たり100グラム（出来上がり量260グラム（おにぎり2.5個分））程度。

【目標数量】6,000人×3食分×2日=36,000食

(4) アルファ米（梅かゆ）《対象：70歳以上》 ※保存期間5年

1人当たり3食分／1日を備蓄。注水後の内容量は1食当たり42グラム（出来上がり量320グラム）程度。

【目標数量】 2,000人 × 3食分 × 2日 = 12,000食

- (5) アルファ米（アレルギー対応品（わかめご飯・きのこご飯・ひじきご飯））

1人当たり3食分／1日を備蓄。注水後の内容量は1食当たり100グラム（出来上がり量260グラム）程度。

【目標数量】 100人 × 3食分 × 2日 = 600食

- (6) カンパン《対象：3～69歳》 ※保存期間5年

1日当たり1食分／1日をアルファ米の補完として備蓄。

【目標数量】 8,000人 × 1食分 × 1日 = 8,000食

- (7) 乾燥スープ《対象：対象者全数》 ※保存期間5年

1人当たり3食分／1日を備蓄。

【目標数量】 8,000人 × 3食分 × 2日 = 48,000食

2 飲料水

- (1) 飲料水《対象：対象者全数》 ※保存期間5年

1人当たり3リットル／1日（原則500ミリリットル容器）を備蓄。

【目標数量】 8,000人 × 3リットル × 2日 = 48,000リットル

3 生活必需品

生活必需品については2日分以上を目標に、以下のとおり備蓄を行うこととします。

- (1) 哺乳瓶《対象：0歳》

1人当たり2本（240ミリリットル／本）を備蓄。

【目標数量】 69人 × 2本 = 138本

- (2) 紙おむつ（乳幼児用）《対象：0～2歳》

1人当たり20枚／1日（Sサイズ70人、Mサイズ60人、Lサイズ60人、ビッグサイズ30人）を備蓄。

【目標数量】

Sサイズ70人 × 1パック = 70パック、Mサイズ60人 × 1パック = 60パック、Lサイズ60人 × 1パック = 60パック、ビッグサイズ30人 × 1パック = 30パック

- (3) 介護おむつ（高齢者用）《対象：要介護認定3以上》

1人当たり20枚／1日（Sサイズ50人、Mサイズ110人、Lサイズ110人）を備蓄。

【目標数量】

Sサイズ50人 × 1パック × 2日 = 100パック、Mサイズ110人 × 1パック × 2日 = 220パック、Lサイズ110人 × 1パック × 2日 = 220パック

- (4) 生理用品《対象：10～55歳（女性）》

1人当たり10枚／1日を備蓄。

【目標数量】 3,800人 × 1パック = 3,800パック

- (5) マスク

対象者全数の食器セットを目安として備蓄。

【目標数量】 子ども用 220人 × 2日 = 440枚、大人用 7,800人 × 2日 = 15,600枚

- (6) 災害用食器セット《対象：対象者全数》

対象者全数の食器セットを目安として備蓄。

【目標数量】 1セット (100人用) × 800セット = 8,000人用

【行政備蓄における年齢区分別の対象人口】

年齢区分	対象人口	構成割合	摘要
0歳	69	0.86%	
1～2歳	143	1.78%	
3～69歳	5,814	72.68%	
70歳以上	1,974	24.68%	
合計	8,000人	100%	
10～55歳（女性）	3,704人	46.3%	
要介護認定3以上	62人	0.78%	市内 257人/33,000人

4 避難所資機材

各避難所における資機材の備蓄については、災害時の指定避難所 25ヶ所のうち避難拠点施設 8ヶ所及び災害対策本部 1ヶ所、現地災害対策本部 2ヶ所の合計 11ヶ所において、以下のとおり備蓄を行うこととする。

資機材名		目標数量
名称	仕様	
救助工具	FK 救助工具復路セットD	11
標識ロープ	30m	8
脚立	全長 3,560mm	8
ブルーシート	10m×10m	16
ハンドメガホン	サイレン付	8
懐中電灯	ソーラー&ダイナモAM/FMラジオライト	110
発電機	1.6K	11
コードリール	30m、防雨・防塵型	16
ガソリン缶	20リットル	44
灯光器	ハロゲン	24
車いす	折り畳み式	8
担架	折り畳み式（4つ折り）アルミ	8
ポリタンク	20リットル	80
救急箱	20人用	11
毛布	難燃アクリル 1.3kg	8,000
ティッシュ		800
パーテーション	標準セット	80
	更衣室セット	24
簡易トイレ		80
トイレ用パーソナルテント		8